

## 第68回山口県春季体育大会 軟式野球の部 《新型コロナウイルス感染拡大防止対策ガイドライン》

### 【原則】

- 1 本大会の「大会関係者」は次のとおりとする。  
※大会役員…専門部教職員  
※チーム関係者…出場チームの校長・監督・コーチ・引率教員  
※中学生…選手（登録選手以外も含む）及び大会補助員
- 2 本大会は上記1の大会関係者以外の人々の会場への来場を避ける。  
※原則として無観客での実施とする。ビデオ撮影等のためにチーム1名の入場を許可する。その際、健康チェックシート（様式2）を提出する。
- 3 大会を実施する上で、いわゆる3つの密（密閉・密集・密接）を徹底的に回避する。
- 4 移動前の検温徹底と、移動時の換気や座席配置・空間遮断により濃厚接触を回避する。
- 5 関係者の中から感染の疑いが生じた場合や不測の事態に備え、医療体制を整備する。
- 6 大会（試合）終了後、大会関係者からの感染の有無についてできる限り情報を収集し、効果について検証するよう努める。

感染者が発生した場合は、濃厚接触者を山口健康センター及び教育委員会へ報告する。

### 【A 試合会場対策】

- A① 大会関係者は個別の健康観察を継続していることを前提とし、体温及び体調を記録しておく。
- A② 大会役員（試合中の審判は除く）は大会期間中マスクを着用する。
- A③ 各会場消毒液を以下の場所に設置する。

・受付（球場入り口） ・1, 3 塁ベンチ ・応援エリア ・トイレ

- A④ 控えメンバーの応援については、各会場応援エリアでの観戦とし、マスクを着用し、ある程度間隔とって観戦するよう徹底する。大声を出すこと、鳴り物を使用しての応援は控える。
- A⑤ 放送・記録については、密室・密集にならないようにする。対処できない場合は、それぞれ実施しない。また、放送を行う場合は、マイクカバー使用や消毒を行うなどして、飛沫感染防止につとめる。
- A⑥ 同じ球場で複数試合を行う場合は、試合ごとに次の場所の清掃、消毒を行う。  
ア、ダッグアウト内

・ベンチ ・手すり ・水道蛇口 ・バットケース など

イ、応援エリア

・いす ・手すり ・水道蛇口

- A⑦ その他、球場内のドアノブ、トイレなど不特定多数の者が接触する場所は、定期的な消毒に努める。

## 【B 参加校対策】

- B① チーム関係者及び中学生は試合当日起床時に検温し、健康チェックシート(様式1)を大会本部に提出する。
- B② 健康チェックをした14日以内に体調不良での早退や欠席があり、感染の疑いがある者は入場することを控える。ただし、医師や専門機関等で安全が確認され、校長の許可が認められた場合(健康チェックシートが提出された場合)は、この限りではない。
- B③ 検温の結果37.5℃以上の者がいた場合は、大会会場への来場は自粛する。体調不良(風邪の諸症状)の場合も自粛する。
- B④ 試合会場には、各校で消毒液を準備し、関係者のこまめな予防に努める。
- B⑤ 熱中症予防にも十分に配慮することとし、水分補給を行うが、各人のペットボトルや使い捨て紙コップなどを用意し、飲み回しなどを行わないようにする。
- B⑥ マスクは試合中及びウォーミングアップ以外は原則着用とする。
- B⑦ 飲食場所については指定しないが、周囲の人とは対面を避け、会話を控えめにする。
- B⑧ 円陣を組むなどは密集にならないよう配慮し、試合中マウンド上で集合する際はグラブを口に当てることとする。
- B⑨ 試合中は肌と肌との接触(素手でのハイタッチや・握手)を控える。  
※JSBBガイドライン参照

## 【C 応援者対策】

- C① 応援者については、控え選手のみとする。保護者の応援は認めない。
- C② 各会場に設置してある応援エリアでのみ応援をすることができる。

## 【D 危機管理対策】

- D① 各会場に救護スペース及び救護担当役員・医療従事者を置き、発熱等があった場合は、指示を受け対応する。
- D② 係員の指示に従わない場合や虚偽の報告等があった場合、確認された時点で全試合を中断する。
- D③ 新型コロナウイルス感染症が発症した疑いがある場合はすぐに試合を中断する。  
(チェック項目)

- ① 平熱を超える発熱がある場合
  - ② 咳、のどの痛みなどの風邪の症状がある場合
  - ③ だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)がある場合
  - ④ 嗅覚や味覚の異常がある場合
  - ⑤ 新型コロナウイルス感染症陽性者と濃厚接触した場合
  - ⑥ 同居家族に新型コロナウイルス感染症が疑われる方がいる場合
  - ⑦ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ◆学校の再開及び登校するということは、生徒及び生徒の同居家族については、「14日前までは感染していない、発症していない状況であることが確認できている」と考える。感染の兆候が見られる場合は、喫緊の14日間の状況を確認することで、より早く状況の確認と対応ができることと考える。

## (対応手順)

- ① 救護室等での一時休養は行わない。
- ② 濃厚接触者の特定。検温等、体調確認
- ③ 山口健康福祉センターに相談し、指示を受け病院へ搬送
- ④ 原則、保護者へ引き渡しまたは引率者へ引き渡し。

※ケガや熱中症等は適宜対応。応急処置と救急搬送の判断

※症状が軽微に見えても本人が体調不良を訴える場合も同様

※場合によっては、体調不良者の同学校者は棄権

※通常の救護室とは別の待機場所が必要

## 【参加チーム注意事項】

- ① ウォーミングアップ及び試合中以外は、原則マスクを着用する。
- ② 試合前ノックは行わない。
- ③ 待機場所を確保し、密集を防ぐ。
- ④ 自チームの試合以外の試合観戦はしない。
- ⑤ ベンチに入る前、ベンチを出た後の手洗いまたは消毒を徹底する。
- ⑥ ウォーミングアップについては、各会場の指示に従い、試合開始時間を考慮し、分散して少数で行うなど計画的に実施し、3つの密を避ける。
- ⑦ 十分な水分を各チームで準備し、熱中症対策に心がける。コップの使い回しなどはせず、紙コップやマイコップを利用する。
- ⑧ 試合前後の挨拶については、ベンチ前で行う。
- ⑨ 試合前や試合終了後のミーティングは極力避ける。
- ⑩ 試合終了後は、参加チーム（応援者含む）は速やかに帰宅する。